



全体の施策としては「医療だけ」といかならないのは良く分かりますが、無

一方で国民の生命と健康を守るため、過不足は譲れない部分であり

医療現場では患者と懸命に向かい合い、まさに命と向かい合っており、こ

れまで小児に対する費用が大変少なかった、子どもの未来に対する投資という観点での配分ではなかった、また医療的ケア児の問題も含め遠くに置かれてい

たのではないかと、当事者が尊敬を持った決定をなせない場面を見てきたので、子ども施策に重点を置いた活動をし「子ども家庭庁」の設置といったことも取

り組んで参りました。現在は大臣としての担務もあり、大阪・関西万博や沖縄・北方対策、地方創生などの関連職務に当たっておりますが、全てにおいて医療や介護、福祉と関わって参ります。

国が地方創生の旗を振り始めて今年で節目の十年であり、振り返りを有する年でござい

ます。また同時に、次の展開を見据えた施策を現在議論しているところであり、今までの地方創生は以下の四つの柱のもとで施策を進めてきました。地方に仕事を創出する、人の流れをつくる、妊娠・出産・結婚・子育ての希望を叶える、そして四つ目が魅力的な地域づくりであります。子どもからお年寄りまであらゆる世代の方々が安心して住める地域づくりのためにも、やはり医療、介護、福祉が必要不可欠です。この医療、介護、福祉をしっかり守ってゆくことが、子ども達の未来を守る事ではないかと感じています。

医療、介護、福祉を守ってゆくことが、子ども達の未来を守る

羽生田 この制度を次の世代へきちんと渡すべく「守るべきもの」

医療を残して行くことが私達の使命なのでは

先生のような次世代に繋げ、更なる次の世代

自見先生 先生方からの過分なお言葉や期待



横倉 義武

第19代日本医師会会長
第68代世界医師会会長
第35代アジア大洋州医師会連合(CMAAO)会長
医療法人弘恵会ヨコクラ病院・理事長

自見はなこ

参議院議員(平成28年当選 2期目)
内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策 消費者及び食品安全 地方創生 アイス施策)
国際博覧会担当大臣
前内閣府大臣政務官
元厚生労働大臣政務官

羽生田 俊

参議院議員(平成25年当選 2期目)
参議院厚生労働委員会理事
自民党厚生労働部会長代理
前厚生労働副大臣
元参議院厚生労働委員長



羽生田 コロナを受けて、医療のあり方が大きく変わってきたと感じています。発生当初

治療を医師の判断により適切に行える医療提供体制は他国ではなし

先生方のお声に応えられるよう頑張っ

自見先生 先生方からの過分なお言葉や期待

先生方からの過分なお言葉や期待

患者が望む治療を適切に行える医療提供体制を

自見先生 これまで日本医師会を支えとして積み上げてこられた横倉先生として羽生田先生とこのような対談の機会を頂けて感謝いたします。

横倉先生・羽生田先生共に医師会活動を30年以上関わられ、これまでの医療というものを支え積み上げてこられた重みを感じています。これからは私達の世代が、先程横倉先生のいわれた激動の社会保障と切り分け、激変の医療をしっかりと受け止め、更なる次の世代へ渡してゆく役割を担っていきたくと思っています。

羽生田 コロナを受けて、医療のあり方が大きく変わってきたと感じています。発生当初

は封じ込めを含め医療をどう守るかといった活動でありましたが、直近はコロナで医療に金がかかった、医療は金を持ってきたから取り上げるといった風潮を感じています。費用対効果という言葉で数字ばかりがクロージングアップされ、今回の骨太にたつては「混合診療や保険外併用療養」が議論されています。財源に限りがあることは分かっていますが、医療を過不足無く行う財源は必要であり、また、医療にとって一番大事なのは患者の幸福度であり、財源論や費用対効果などではないと思います。患者が望む治療を医師の判断により適切に行える医療提供体制は他国ではなし得ない国民皆保険の賜

だとも思います。この皆保険が壊れてしまうような財政論による改革はすべきではないと思います。

また医療政策ではあるものの、時に政治で

特に財政論が強く掲げられる時には政治でしか押し返せない場面が多くあります。確かに限りある財源を医療だけに振り向けることは配分するいわば日本

とは違う医療の捉え方をされる事があるかもしれない。日本医師会では公的医療保険による国民医療体制を守ってまいりましたが、これまで

保障のあり方の激変が予想される状況となり、日本医師会では公的医療保険による国民医療体制を守ってまいりましたが、これまで

と先生が望む治療を適切に行える医療提供体制を

の決着に委ねられる事もあり、大変な苦労があったことも事実であります。その様なときに、組織内候補というの志を同じくする仲間であり国民医療の代弁者として、その折々に大きな存在意義をお二人に果たしていただいた事に感謝をしています。

特に財政論が強く掲げられる時には政治でしか押し返せない場面が多くあります。確かに限りある財源を医療だけに振り向けることは配分するいわば日本



に感謝いたします。

先生方のお声に応えられるよう頑張っ

若きエースであり、自見先生はご自身の益々のご活躍にエールを送ると共に、私達の生みの親でもある横倉義武先生に敬意と感謝を表して鼎談を閉じたいと思います。

本当に素晴らしい時間となりました、ありがとうございました。